

緑かがやくブナの森に優雅な舞

空気まつり「みこの舞」
(6月5日~6日: 空気神社)

特集／農業研究所って何をしているところなの?
町政スポット／市町村合併(任意合併協議会解散)
国県道整備促進同盟会総会 宝くじ助成で豊龍太鼓購入 ほか
カメラさんぽ／朝日町消防採法審査会
まちの話題／朝日町観光キャンペーン 町スポーツ少年団結団式
町小学校陸上競技記録会 ほか

広報 あさひまち

2004年6月
No. 571

りんご温泉隣にある「のんばかの森」の高台に、町とJAさがえ西村山が共同出資で設置した「朝日町農業研究所」。平成三年に開所してから今年で十四年目を迎えます。

この間、朝日町農業の基幹産業である「りんご」の優良系統の普及に関する研究をはじめ、「比内地鶏の普及」や「山菜の畠地化」、特產品として「りんご」麺」や「ス・ジエネバ」の商品化、「りんご資料館」や「世界のりん

ご園」の開設など、時代に相応した様々な取り組みが行われてきました。これらの実績は、機関誌「なりわい」の中でも町民のみなさんにお知らせしてきたところです。

今回の特集では、平成十五年度の朝日町農業研究所の活動を紹介し、誰もが気軽に立ち寄ることのできる研究所の今と、農業の魅力を身近なところで感じていただきたいと思います。



田植え作業を楽しんだ第1回グリーンクラブ

特集○農業研究所って何をしているところなの?

もう儲かる農業の真の魅力を伝えたい 身近な農業を自分のものに…

H15朝日町農業研究所レポート

研究事業の概要

平成十五年度は、平成十四年度までの調査研究事項を継続した事業を展開してきました。

生産農業分野では、りんごに絞り込んだ調査研究のほか、これまでの基礎調査を継続しながら情報の有効活用とともに有望品種等の普及推進、生活環境農業分野では、山菜等の普及推進をめざして取り組んできました。朝日町農業の基幹作物であるりんごについては、ポットによる大苗育成を昨年度に引き続き行い、今年四月に約半分を配付したところです。また、新品種の果実調査、選果データの分析と台帳化等を行いました。

世界のりんご園については、「丸葉台(※1)からわい台(※2)への更新」を完了しました。今後、学校等による郷土学習としての活用が期待されるところです。

また、加工品の開発・試験として、ジエネバの花とふじの花を用いた「花茶」を商品化するための研究を行いました。

生活環境農業では、山菜の種子繁殖試験と生産者の普及拡大に取り組んできました。これまでは、遊休農地の有効活用と高齢者の生きがい対策をめざして取り組みが主でしたが、複合経

當による収入の安定的確保といふ観点からも、これからは山菜も生産農業のひとつとして普及させていくことが必要です。この一年間、これまでの継続的な課題や新規の課題に取り組んできましたが、単年度では結

基礎調査(気象データ観測)

平成十五年の大まかな気象観測と農業との関わりについては次のとおりです。

平成十五年一月から二月は、一月下旬の強い寒気団の影響による大雪となり、一月三十日に二年ぶりとなる「朝日町豪雪対策本部」が設置されました。しかし、それに関わる大きな被害もなくその後は穏やかに推移しました。

三月から四月にかけての気温は準平年並みに推移し、雪解けも平年並みとなりました。りんごの主力品種「ふじ」の満開日も、ほぼ平年並みの五月四日頃となっています。

五月九日から十日にかけての降霜で、りんごのさび果(※3)などの影響が出たほか、同月の降水量が平年を下回るなど開花後の干ばつが果肉の細胞分裂に大きく影響したようで、このことがりんごの小玉化の原因にもなっているようです。

果の出ないものが多く、今後も継続的に取り組んでいくことで、農家のみなさんに還元できる成果と、儲かる農業の真の魅力を後世に伝えていくことが、研究所の役割と考えています。

生産農業に関する研究

●りんごの生産状況

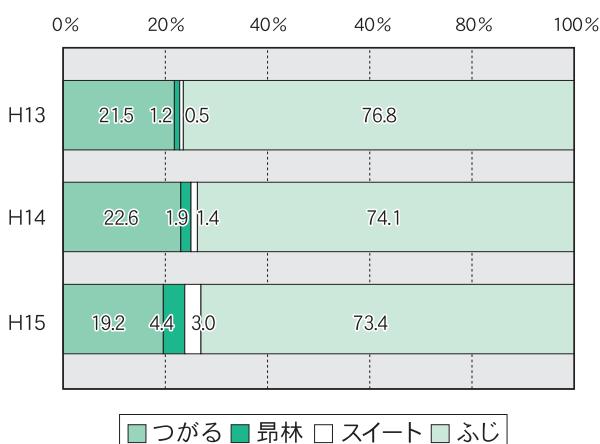
主力品種「ふじ」の満開日は、平年より二日早い五月四日頃となりました。開花期は天候が温暖に推移したこともあり、着果数は十分に確保されたようですが、五月の二回の霜や開花後の干ばつ、夏場の低温等の影響により、小玉果やさび果などの果実着色等も順調に推移しました。

梅雨入りは六月十二日頃で、雨の量も平年並みとなりましたが、六月中旬頃の気温が三十度近くまで上がるなど、六月の気温が高めに経過したことで、サクランボ等の生産を順調に推移させました。

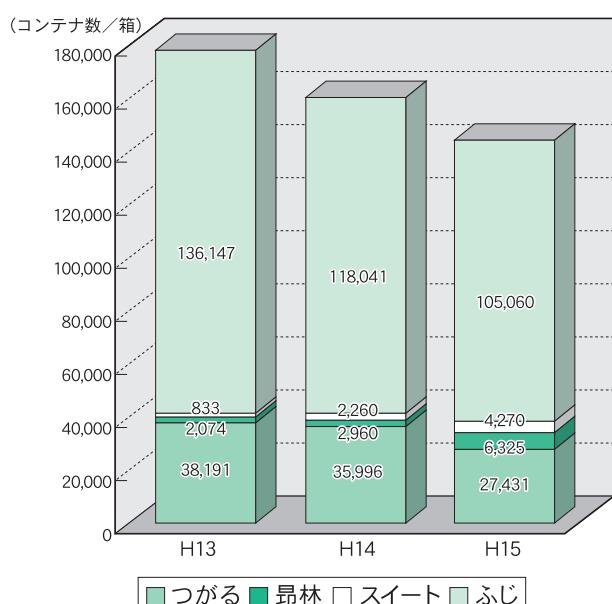
しかし、七月に入ると寒気やオホーツク海からの冷たく湿った風の影響により曇りや雨の日が多くなり、記録的な低温や日照不足となるなど、梅雨明けを特定することができませんでした。八月に入つても最高気温が平年を大きく下回るなど日照不足が続き、この低温の影響による水稻の「不稔(※4)」が発生するなど水本、上郷地区で大きな被害が出ました。八月二十一日には「朝日町農作物異常気象対策本部」が設置されました。

年より高めに経過、平均気温は平年も高く、十月、十一月も穏やかに推移しました。

(図1) りんご主力4品種の年別出荷割合の変化



(図2) りんご主力4品種の年別出荷数



組合に入荷された分のみ)を見ると、「ふじ」が全体の約73% (図1) を占めており、まだ「ふじ」の比率が高いと言えます。

この結果、ある一時期に作業が集中し、適期に作業できないことが品質の低下に結びついでいると考えられます。単価をみ

ても、中生種(※5)の「昂林」「シナノスイート」が高値を付けており、このことは価格面にも大きく影響しています。

「つがる」「昂林」「シナノスイート」「ふじ」の四品種について搬入数(センターリン

テ)でみると、「ふじ」が全体の約73% (図1) を占めており、まだ「ふじ」の比率が高いと言えます。

この結果、ある一時期に作業が集中し、適期に作業できないことが品質の低下に結びついでいると考えられます。単価をみると、「シナノスイート」が高値を付けており、このことは価格面にも大きく影響しています。

また今後は、各種データの分析結果を町、あるいは農協の広報紙を活用して情報提供をしていきたいと考えています。

●農産物の加工調査、研究

平成十四年度に誕生した「ジエネバ」(ジエネバ(二五〇ml))については、昨年度千二百本製造したところ、消費者の反応も良く完売しました。今後は町の特産品として普及できるよう、園地の拡大を図っていきたいと考えています。

葉取らずりんごの推進など、各生産者が「儲かるりんご」を作ることで、農業の活性化を図るために方策を、町と農協が連携しながら推進していくなければなりません。

また、「ジエネバ」と「ふじ」の花を使った「花茶」の試験、研究を行いました。今年度は、塩漬け、乾燥までのレシピを作成したところです。現在、県工業技術センターの協力を得て成

分の分析を行っているほか、東北芸術工科大学にパッケージデザイン等を委託、町制施行五周年記念の「りんごの日制定」に合わせて販売を開始したい考えです。

ス・ジエネバを紹介する三浦浩一主任研究員



生きがいを得る生活環境農業に関する研究

●山菜栽培の普及

朝日町では、農業従事者の高齢化と労働力不足等から遊休農地が増え続けており、農地の有効活用と所得の向上という観点から「山菜の普及」を進めていきたい考えです。市場から信頼を得るためにも、生産組合を作るなどして組織をあげた取り組みが必要です。

山菜栽培を普及させるには、苗の安定的確保が必須であり、種子から苗を育成させた上で農家への普及を図っています。また、新規栽培者の確保と生産技術の向上をめざして、「山

菜栽培講習会」を苗の配付時に塩漬け、乾燥までのレシピを作成したところです。現在、県工業技術センターの協力を得て成

その他の事業への取り組み

●世界のりんご園

平成八年にオープンした世界のりんご園は、テレビ等のマスコミ各社から全国に向けて紹介されています。昨年度も、ほとんどの樹が花を咲かせた上、結果も良く、見学者からは好評でした。

昨年度は、五月から一月まで計八回のカリキュラムで活動してきました。参加者十六名から参加してみての感想を聞いてみたところ、初めて体験することばかりでおもしろかった」「ぜひ来年もおもしろかった」など、いろいろなものを

ことです。事業としては、創遊館において「ヒメサユリ展」を開催しました。一本松公園（能中）についても、公園周辺の草刈と球根の定植、ネズミ駆除剤の設置を行いました。

平成十四年から行っている杉山地区での球根の育成について、昨年度はあまり生育が良好なかつたことから、腐葉土の散布と寒冷遮（日よけ）の設置を行ったほか、新たに約五百球ほど球根の植え替えを行いました。

ニッカウヰスキー㈱と契約栽培している「ジエネバ」は収穫三年目となり、平成十四年発生したホウ素欠乏についても、昨年はほとんど発生が無く、三千八百七十キロ（対前年比29%の増）の収量となりました。

また、促成栽培の可能性調査として、行者ニンニクに着目し試験を行ってきましたが、今年の四月にその苗を供給することができます。

●山菜の消費拡大

朝日町産山菜のすばらしさをPRし、さらに消費拡大と都市との交流を図るため、町産業振興課、白倉特産物生産組合とタ

地域の農産物を活用した農産加工物の開発を模索する必要性から、「手作り農産加工品で地域おこしにチャレンジ」と題し公開講座を開催する予定でしたが、諸般の事情により平成十六年度に延期して開催することになりました。

●公開講座の開催

朝日町産山菜のすばらしさをPRし、さらに消費拡大と都市との交流を図るため、町産業振興課、白倉特産物生産組合とタ

地域の農産物を活用した農産加工物の開発を模索する必要性から、「手作り農産加工品で地域おこしにチャレンジ」と題し公開講座を開催する予定でしたが、諸般の事情により平成十六年度に延期して開催することになりました。

●グリーンクラブ活動

二十一世紀を担う子どもたちに農業体験や自然とふれあう機会を提供し、生産する喜びや農業の大切さを理解してもらうことは、農業振興上も大変重要な

●ヒメサユリの普及

町の花であり、町内に自生す

る「ヒメサユリ」を種から育て上げ、全町に広めていきたい。

そんな思いでヒメサユリの増殖



自生するヒメサユリのそばで戯れる子どもたち
一本松公園（能中）

農業に関する問い合わせは、農業研究所までお気軽にどうぞ。

菜栽培講習会」を苗の配付時に塩漬け、乾燥までのレシピを作成したところです。現在、県工業技術センターの協力を得て成

成したところです。現在、県工業技術センターの協力を得て成

分の分析を行っているほか、東北芸術工科大学にパッケージデザイン等を委託、町制施行五周年記念の「りんごの日制定」に合わせて販売を開始したい考

えです。

ス・ジエネバを紹介する三浦浩一主任研究員



ス・ジエネバを紹介する三浦浩一主任研究員

成したところです。現在、県工業技術センターの協力を得て成

分の分析を行っているほか、東北芸術工科大学にパッケージデザイン等を委託、町制施行五周年記念の「りんごの日制定」に合わせて販売を開始したい考

えです。

ス・ジエネバを紹介する三浦浩一主任研究員

特集○農業研究所って何をしているところなの?

もう
儲かる農業の真の魅力を伝えたい
身近な農業を自分のものに…



私たちは農業研究所を利用しています



グリーンクラブ会員
多田慎吾君
(宮宿小6年)

汚れるのはちょっといやだけど、なぜか土の感触が好きなんです。

4年生の時から毎年参加しています。家には畑や田んぼがないので、野菜などを自分で育ててみたいと思い、自分から参加しました。思っていた以上に楽しいです。

ただ、服が汚れてしまうのがちょっといやだけど、何故か土の感触が好きなんです。今年も1回目のグリーンクラブで、トマトなど

の苗を植えたり、田植えをしたりしました。

これから秋の収穫の時期まで、牛の乳しぶりなどの楽しい行事がたくさんあります。でもやっぱり、自分たちの手で育てた栄養満点の野菜をみんなから買ってもらった時が一番嬉しくなる時かな。ちょっと早いですが、産業まつりが今から楽しみです。



斎藤良枝さん
(杉山)

山菜栽培に細かな指導をしてくれる農業研究所に感謝しています。

畑を耕し種を蒔き収穫するまで、全て自分の手でやれるところが農業の魅力。中でも、山菜に関しては、栽培方法が比較的簡単で失敗も少なく、機械を必要としたり力のいる作業もないので、無理なく栽培を始めることができました。日を追う毎に育つ山菜を畑に行って見るのが毎日の楽しみ。まるで我が子のよ

うに感じます。現在は、農業研究所から指導を受けながら、シドケの栽培（挿し木）を始めました。

研究所に声を掛けられ、岩手の宮守村にシドケのハウス栽培を視察に行ったのが山菜栽培を始めたきっかけ。研究所で話を聞くのが好きなので、これからもお世話になります。



JAさがえ西村山女性部
朝日支部長
佐藤秋恵さん
(宿)

地元の農産物を加工し商品化 困った時はすぐに相談できます。

「りんごの赤い果汁が出るから搾ってみては…」と農業研究所から声をかけられたのがきっかけで、ジェネバの果汁「ス・ジェネバ」の開発、商品化を実現しました。

現在は、ジェネバの赤い花とふじの白い花を塩漬けにしたものを、お茶（花茶）として味わえないか開発中です。これも、研究所か

ら助言いただき始まったものです。お湯を注ぐとお茶碗のなかで花が開きます。紅白の花なので、茶の湯の席や結婚式などのおめでたい席で使ってもらえるような縁起物として、贈答できる商品になればと考えています。

困った時にはすぐに相談にのってくれる研究所。お互いに必要とし合う関係にあります。

用語の解説

丸葉台（※1）

りんごの台木の一種。通常りんごの木は、台木の上にそれぞれの品種の穂木が接ぎ木されて一本の樹を構成している。台木の種類で樹高や樹勢、耐病性、耐水性などが決まる。

わい台（※2）

丸葉台に比べて樹高が高くならない台木のこと。わい台を利用することで、早期多収や低コスト化が図られる。

さび果（※3）

降霜等の被害により、表面の一部がコルク化した果実。

中生種（※5）

収穫時期が、九月下旬から十月中旬頃までの品種。昂林やシナノスイート等がこの品種。それ以前に収穫される品種を早生種、以後に収穫される品種を晩生種という。

葉取らずりんご（※6）

葉を摘むが、樹勢をコントロールすることで葉を摘まなくとも着色するよう栽培したり。最後まで光合成を行うりんごになる。

寒河江市・西川町・朝日町 任意合併協議会



これまで一市二町（寒河江市・西川町・朝日町）の枠組みで協議がなされてきた「任意合併協議会（会長：佐藤誠六寒河江市長）」の第九回会議が五月二十日、寒河江市役所で行われ、新市のあるべき姿などを検討してきた本協議会は、合併に向けた次の段階である「法定合併協議会」に移行することなく解散することを決議しました。

西川町、朝日町それぞれの町民を対象にした「合併に関するアンケート調査」を踏まえた結果、会議の意向を踏まえた上で、

これまで一市二町（寒河江市・西川町・朝日町）の枠組みで協議がなされてきた「任意合併協議会（会長：佐藤誠六寒河江市長）」の第九回会議が五月二十日、寒河江市役所で行われ、新市のあるべき姿などを検討してきた本協議会は、合併に向けた次の段階である「法定合併協議会」に移行することなく解散することを決議しました。

佐藤会長は、「これまで協議してきました新市の姿は、行政サービスも現状より良くなるよう中国梦の持てる内容にしたはず。西川・朝日両町の町民に理解してもらうまでには至らなかつたことが残念でならない。しかし、これまで検討調整してきた内容を、これからの一市二町にとってプラスにしていくことが重要」とあります。

その後、二町の首長の最終的な判断材料となつたアンケート調査の結果が報告されました。「合併に反対」という町民が両町とも過半数（朝日町55・8%、西川町70・4%）を占め、それを踏まえた結果、会議の意向を踏まえた上で、

法定協議会に移行せず任意合併協議会を解散

一行政区域を跨いでの合併は困難（清野町長）

果、合併特例法に基づく平成七年三月末日までの合併は無理と判断。法定協議会への移行も断念せざるを得ない状況となり、約一年間審議してきた本協議会に終止符が打たれることになります。

佐藤会長は、「これまで協議してきました新市の姿は、行政サービスも現状より良くなるよう中国梦の持てる内容にしたはず。西川・朝日両町の町民に理解してもらうまでには至らなかつたことが残念でならない。しかし、これまで検討調整してきた内容を、これからの一市二町にとってプラスにしていくことが重要」とあります。

協議の中で清野隆町長（本協議会副会長）は、「住民への行政サービスの維持向上は、口先だけではなく財政的な裏付けが必要ではなき難い。地域文化や生活面を取り上げて合併を論議し合うことも重要な点ですが、少子高齢化が進んでいる朝日町にとっては、それ以上に町の財政面を十分に考慮した合併論議が必要だ」と語りました。

この結果、それぞれの市町は自立の道を歩むことが決定したことになります。

会議後の記者会見の中で三首長がそろって口にしたのは、今後の厳しい行財政運営について。「組織体制の見直しによるコスト削減など、より一層行財政改革を進めていく必要性がある」と語りました。

また、合併を断念した大きな

理由として「隣の大江町を飛び越しての合併は考えられない」とする町民の意見をあげ、「行政区域を跨いでの合併はやはり困難であつたことを示しました。川口幸次郎町議会議長（本協議会委員）も「今後の行財政の行く末を考慮する上で、合併についての論議の火はこのまま消さないでほしい」と語り、これまでの一市二町に加え寒河江西村山一市四町（人口にして約十万人規模）の枠組みをも視野に入れれた検討が引き続き必要であるとの考え方を示しました。

この結果、それぞれの市町は自立の道を歩むことが決定したことになります。



国県道整備促進同盟会総会

開発センターホールで5月19日、町議会議員や区長、その他各種団体の長ら約70人が出席し、朝日町国県道整備促進同盟会（会長／清野隆町長）総会が開催されました。

村山総合支庁建設部次長の山泉一夫氏は、「一事業の早期完成をめざす目的から、国の予算編成方針が低額で数多い事業への配分から高額で数少ない事業への重点的な配分へと変わっている」と語り、道路予算が現実に厳しい状況にあることを説明。しかし、寒河江西村山管内全体予算の39%が朝日町に関する工事となっていることを強調しました。鉄道のない当町にとって車への依存度が極めて高く道路整備が急務であること、その分優先の度合いも高いこ

とがこの数字に表れてきていることです。

また、今年度に国や県で予算化されている主な事業として、①アーチ型の橋としては全長115メートルと東北でも例を見ない姿に生まれ変わる明鏡橋は両岸から工事を進めている橋が今年度に結合。その後、平成17年度に橋上の舗装と橋前後の取付工事が行われ、和合工区2.7キロの区間が完成。②平成19年度の完成に向けた大平橋工事は、今年度に国道側の橋台が完成。③県道長井大江線大谷地内の用地の追加買収。④同線玉ノ井（通称；ザル）地内の法面工事。⑤県道左沢浮島線大暮山入口までの区間について、大幅な予算増で今年度中に全線が改良される予定。と5つの大きな事業を上げました。

最後に多田賢司副会長（町区長会長）が、「この同盟会を軸に、全町挙げて関係各機関への整備促進運動を展開する必要がある」とする決議案を朗読。満場一致で承認され、盛会の内に総会は終了しました。



年度内の予算増で工事が進む明鏡橋



宝くじ助成で和太鼓を購入

宮宿小学区子ども会育成会（阿部一幸会長）が、平成16年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成）を受けて、和太鼓（豊龍太鼓）を整備しました。学校の統廃合による学区の再編で、演奏する子どもの数が増えたことに伴い、長胴太鼓3基と締太鼓5基を新たに追加購入したものです。

お披露目式となった5月24日、同校体育館には6年生の児童27人が集合。真新しい和太鼓相手に一糸乱れぬバチさばき、威勢の良いかけ声で心に響く演奏を披露してくれました。

3人の自衛官募集相談員を委嘱

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が5月10日、役場3階会議室で行われ、白田新吉さん（大谷五）、村山友雄さん（栄町）、小林晴雄さん（大沼）の3人に、町と自衛隊から委嘱状が交付されました。

式の中で川嶋昌之山形地連部長は、「自衛官の任務は、国内防衛の時代から国際貢献の時代へと移り、海外での新たな任務が求められています。このような任務にふさわしい隊員の獲得に、みなさんからの絶大なご協力をお願いしたい」とあいさつ。3人はこれから入隊希望者たちの相談業務などにあたることになります。



左から 村山友雄さん 白田新吉さん 小林晴雄さん



点検者に敬礼



消防団の統制力を競い合う小隊訓練



指揮者 指示 乗車 自動車 ポップ操法



第2線延長 全速力で走る！

じんそく
安全・迅速・確実に！

朝日町消防操法審査会

三年に一度実施される朝日町消防団操法審査会。五月三十日、創遊館駐車場を開場に開催されました。審査の頂点をめざすべく、操法要員たちは精一杯走り続けました。町民の生命と財産を守るべく真剣に取り組む若者たちの姿に、町民は深い感動と安全感、心強さを感じたに違いありません。

審査結果は次のとおりです。

■操法の部

優勝／一の二（宮宿連合区・助ノ巻・西原・雪谷）自動車
準優勝／二の四（常盤・夏草・長沼）小型

以下格付（各賞）表彰
金賞（紫）／一の二（自動車、一の三（和合連合区）自動車

銀賞（赤）／二の三（西船渡・八ツ沼・能中・高田）積載車、二の四（小型、二の三（前田沢・新宿・四ノ沢・緑町）小型、二の四（栗木沢・川通連合区）小型、三の二（大谷動車）小型、三の二（太郎連合区・石須部・立木・白倉）

■小隊訓練の部
優勝／二の二（太郎連合区・石須部・立木・白倉）
準優勝／三の二（大暮山・大沼）



操法要員を見守る同志の団員たち



小型（可搬）ポンプ操法 納め（収納）



指揮者の「操作始め！」で操法開始 素早い動作と機敏な動きが要求される



標的が倒れるまでの時間を競い合う



手元のホースに余裕を持たせることが重要



操法の部で優勝した 1 の 1 自動車班のメンバー（操法要員）



若者は献血にも協力



まちの話題

①朝日町観光キャンペーン



朝日町を味わう長蛇の列

朝日町観光キャンペーンが5月31日、山形銀行本店前（山形市七日町）で行われました。

このキャンペーンは、旬の山菜を販売しながら朝日町のPRと空気まつりのPRを目的として実施しているもので、今年で6回目を迎えます。

白倉特産物生産組合や朝日自然観、JAさがえ西村山で準備したワラビやミズ、シオデ、ゼンマイ干しなどの山菜をはじめ、JA女性部朝日支部で加工した漬け物やりんごジュース、山形朝日オーストリッヂ産業センターのダチョウから作った特産品、朝日町ワインのぶどう液などが販売されました。通りすがりのお客さんなど足を止めてくださった方々は総勢500人。特に、旬の山菜には多くの人が集まり、また、無料でサービスされた山菜汁はたいへん好評でした。

町独自のキャンペーンとしての今後は、山形市、仙台市、東京都（やまがたプラザ「ゆとり都」）などで、秋の「りんごキャンペーン」が予定されています。

③町へ防犯灯の寄贈



暮らしを照らす防犯灯

5月28日、東北電力寒河江営業所長とユアテック寒河江営業所長が朝日町を訪れ、町に対し防犯灯10基を寄贈していただきました。これまでも、毎年10基余りの寄贈をいただいており、合わせて250基余りが寄贈されたことになります。

外で元気に遊ぶ子どもたちに帰宅時間を知らせ、夕方から次の日の朝方に掛けて休みなしに地域社会を照らし続ける防犯灯。防犯対策上もたいへんな効果をあげています。これからも、町民のみなさんの生活を優しく照らし続けることでしょう。

②町スポーツ少年団結団式

朝日町スポーツ少年団の結団式が5月17日、市民体育館で開催されました。この結団式をとおして、それぞれの団体あるいは団員間の交流と、今年1年間の決意を新たにすることを目的に、毎年この時期に開催しているものです。



長なわとびに一致団結

交流大会に先立ち、永年スポーツ少年団の指導者として活躍した佐藤富好さん（大谷三／大谷剣道／31年間）と石塚悦雄さん（四ノ沢／朝日野球／17年間）に「山形県スポーツ少年団発足40周年記念表彰」の伝達が、全日本少年剣道錬成大会で優秀な成績を収めた大谷剣道スポーツ少年団に町スポーツ少年団本部長表彰が行われました。

「第6回交歓交流長なわとび大会」には、町内の少年少女ら総勢146人が参加。何よりもチームワークが要求される競技に挑戦しました。結果は次のとおりです。

- ▽時間とび（3分間に合計何回とべるか）／①朝日卓球；112回
②和合ミニバスケB；105回③宮宿女子ミニバスケ；99回
- ▽連続とび（連続して何回跳べるか）①朝日野球A；55回②朝日卓球；44回③宮宿剣道A；43回

④町小学校陸上競技記録会



6年女子走り高跳びで1位の村山奈津美さん（西五百川小）

9つの大会新記録が誕生！

町小学校陸上競技記録会が5月19日、西五百川小学校グラウンドで開催されました。

天候的にも絶好のコンディションとなったこの日、町内の小学5、6年生合わせて159人が、自己記録の更新をめざしそれぞれの競技に挑みました。

その結果、例年ない数の大会新記録が誕生。そのアナウンスが流れると、会場内は驚きの声と歓声に包まれていました。結果は次のとおりです。

【5年男子】

▽100m／①吉田光汰(宮宿)16秒3、②清野嵩悠(宮宿)、③登坂高堂(西五百川)▽70mハードル／①吉田光汰(宮宿)13秒0《大会新》、②長岡龍吉(大谷)、③村山和輝(宮宿)▽1000m／①登坂高堂(西五百川)3分47秒1、②菅井翔太(和合)、③菅井英男(和合)▽走り幅跳び／①鈴木鷹也(西五百川)3m35、②遠藤和樹(大谷)、③阿部良輝(西五百川)▽走り高跳び／①菅井皓太(和合)1m05、②海野雄大(西五百川)、③海野勇也(西五百川)

⑥サンに市



毎週金曜日は創遊館前へ

今年も始まりました。安心・安全でとりたての野菜や果物など、その季節にあった食材を販売してくれる「サンに市」がオープンしました。

11月までの毎週金曜日、午後4時頃から約2時間、創遊館出入り口付近に開店しますので、お仕事帰りにでもぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

【5年女子】

▽100m／①深澤雅姫(宮宿)16秒4、②長岡亜美(西五百川)、③若月未来(和合)▽70mハードル／①深澤雅姫(宮宿)13秒0《大会新》、②長岡亜美(西五百川)13秒5《大会新》、③長岡咲樹(西五百川)13秒7《大会新》、④清野詩織(宮宿)13秒9《大会新》▽800m／①松尾泰葉(宮宿)3分09秒0、②阿部円香(宮宿)、③浅岡優希(宮宿)▽走り幅跳び／①佐竹由衣(西五百川)2m88、②鈴木希望(西五百川)、③鈴木鳳華(大谷)▽走り高跳び／①若月未来(和合)1m11、②齊藤安莉(西五百川)、③川村梨乃(大谷)

【6年男子】

▽100m／①阿部陽祐(宮宿)14秒5、②白田知大(和合)、③長岡弘晃(西五百川)▽70mハードル／①白田知大(和合)12秒7《大会新》、②安藤一樹(宮宿)、③川村一貴(大谷)▽1000m／①菅井拓人(宮宿)3分17秒3《大会新》、②堀翔太(大谷)、③早坂佑太(大谷)▽走り幅跳び／①白田翔汰(大谷)3m55、②長岡弘晃(西五百川)、③阿部琢也(西五百川)▽走り高跳び／①阿部陽祐(宮宿)1m33《大会新》、②阿部悠佑(宮宿)、③鈴木裕平(西五百川)

【6年女子】

▽100m／①近藤香澄(宮宿)15秒2、②五十嵐望(大谷)、③志藤綾子(大谷)▽70mハードル／①五十嵐望(大谷)12秒9、②阿部智恵(西五百川)、③佐竹穂奈美(大谷)▽800m／①近藤香澄(宮宿)2分33秒1《大会新》、②志藤綾子(大谷)、③鈴木絵莉(宮宿)▽走り幅跳び／①清野理香(宮宿)3m34、②富樫幸姫(宮宿)、③佐藤真奈巳(和合)▽走り高跳び／①村山奈津美(西五百川)1m19、②阿部栞(宮宿)、③菅井舞(和合)

【学校対抗】

▽男子400mリレー／①宮宿A(阿部悠佑・菅井拓人・吉田光汰・阿部陽祐)61秒5、②西五百川A(長岡弘晃・阿部琢也・登坂高堂・鈴木鷹也)、③宮宿B(館山遼馬・今井将真・清野高悠・安藤一樹)▽女子400mリレー／①宮宿A(清野理香・深澤雅姫・鈴木絵莉・近藤香澄)63秒2、②大谷A(五十嵐望・志藤綾子・佐竹穂奈美・五十嵐夏美)、③西五百川A(阿部智恵・村山奈津美・齊藤安莉・長岡亜美)

⑤優良児童図書展示会



心が和む絵本の世界

5月21日から2日間、町内の書店と出版各社の協力で「あさひまち優良児童書・絵本まつり」が創遊館で開催されました。この日展示されたのは、小さな子どもが隠れてしまうほどの特大絵本のほか、子どもたちに親しまれている図書や絵本など約8,000冊余り。

会場は、訪れた子どもたちの笑顔でいっぱいでした。

となりのりんごさん

作・ホリイ (162)



今月の新刊

おすすめ本！ 理科室から生まれた ノーベル賞



▼雨の日のイルカたちは（片山恭一） ▼村田エフエンディ滞土録（梨木香歩） ▼恩はあだで返せ（逢坂剛） ▼夜空のむこう（香納諒一） ▼人間の天敵（森村誠一） ▼今森光彦フィールドノート里山（今森光彦） ▼ボルネオの熱帯雨林—生命のふるさと—（横塚真己人） ▼ものしり地図絵本日本（ひらいふみと） ▼チルドレン（伊坂幸太郎） ▼亡き母や（阿川弘之） ▼乱歩賞作家白の謎（鳥羽亮） ▼さすらい（赤川次郎）



大滝

奈良崎 武志さん

真理子さん

ホームページに掲載している「うまいくだもの園」に農業を体験（ファームステイ）しに来ていた真理子さんを、一目で気に入ってしまった武志さん。農業体験が終わってからすぐ手紙を書き心の内を伝えたのは去年の9月。真理子さんも年内にはOKし、今年の3月には早々と朝日町に嫁いだ。「とんとん拍子で決まったね！」

りんごの花が満開の5月、りんご畑で結婚式を挙げようと計画したものの、当日の天候に恵まれず地元公民館で「結婚を祝う会」に急遽変更して実施したこと。「結婚式は、真っ赤なりんごがたわわに実る頃に挙げたい」と話す二人。

「農業を手伝いながらりんごのケーキを作ったり、新商品の開発をするのが楽しいです。朝日町のりんごやラフランスなどのおいしい果物を、少しでも多くの人に食べてもらえたらすてきですね」と話す真理子さんは東京の出身。真っ白な雪を見てビックリしたそうです。

二人の夢は、寝台特急カシオペアの豪華スイートルームで、親子3人の北海道旅行。「うまいもの園でうまい果物を作って頑張るぞ！」と働き者の二人。お幸せに。

猿屋形鬼悠市風信帖
高橋義夫著
羽州松ヶ岡藩の城下町。歴代藩主菩提寺にある竹林にひとりと暮らす足軽の鬼悠市だが、ひとたび、奏者番加納正右衛門の命を受けると、奥山流の剣を使いこなす隠密の鬼と化す…。五十沢山に棲む猿の親玉の正体とは？

ぱいかじ南海作戦

椎名誠著

離婚と失業で社会生活からオサラバした。乐园・西表島での気楽な南国浮浪者暮らしに、盗賊團に襲われて…。手に汗握る、南国のみりアクション小説。

人やさき大やさき

阿川弘之著

一蔓の體から続

阿川弘之著

国を憂い、人を惜しむ。時には厳しく時にはホロリと、そしてユーモアも忘れずに、いまの日本にも申す。

理科室から生まれたノーベル賞
田中耕一著
『児童書』

小学生の理科の実験が「ノーベル賞」の出発点だった。二〇〇二年十月李ベル化学賞受賞の田中耕一氏の少年時代からノーベル化学賞受賞までをあざやかに描く感動のノンフィクション。

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさん周りでの出来事や話題、日々感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場企画課 協働推進係
(電話：67-2112 フックス：67-2117)
■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
■ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

玄関前の堆肥の臭い 困っています

私 の玄関の前に、隣の家で堆肥を置いています。自分の家からは離れているので気にならないのだと思いますが、もう頭が痛くて痛くて困っています。近所づきあいもあるので言うにも言えず、どうか町の方でなんとかしてください。

【匿名】

家畜排泄物の処理について 現在畜産農家が各自処理を行っているところですが、他の方に迷惑をかけるような処理方法は適正とはいえないでの、指導してまいります。

また、この度の「要望につい

ても、朝日町畜産振興協議会を通じ周知・指導したところです。

家畜排泄物の管理の適正化に関する法律が本年十一月から施行され、適正な処理が義務づけられます。この背景には、家畜排泄物の資源としての利用が困難となりつつある一方、生活環境に関する問題が生じているという状況があり、平成十四年十一月から、法律の施行に先立ち家畜排泄物の管理の記録が義務付けられています。国全体として資源循環型社会への移行が求められており、家畜排泄物を適正に管理し、堆肥として土づくりに積極的に活用し、農業の持続

的な発展を図ることを目的としたものです。

このような状況から、町では本年十一月稼動をめざし、家畜排泄物を適正に処理し良質の堆肥を製造する土づくりセンターを建設中であり、これまで以上に管理の適正化にむけて指導してまいります。【産業振興課】

町のイベントに行きたいのですが…

空 気まつりなど、町のイベントが新聞の折り込みチラシなどで紹介され、それなら行ってみようと思ったのですが、バスが運行されていませんでした。

昨年、孫に「釣り大会」に行きたくと言われましたが、送つてくれる人もなくどうしようもありませんでした。

町の行事はたいてい土日に催されています。町のイベントがある時ぐらいは、臨時にでも町営バスを運行していただけないものでしょうか。

【匿名】

あさひまちの宝箱 vol.8

朝日町りんご栽培のはじまり(2)

リンゴの戸籍

リンゴはバラ科の落葉樹になります。サクラの隣組にあたりモモやウメあるいはサクランボと親戚にあたります。花の形は似ていますが、立派な果実になると見た目、種子の形にも違いがでてきます。我が町の5月の連休はりんごの花盛り、真っ白な春に埋もれます。

む　たい 無袋ふじの発祥の地は朝日町

紙袋で「ふじりんご」を包む栽培方法はなくなりました。その無袋栽培の技術を日本で最初に確立させたのは朝日町です。当時、宮宿生産対策協議会・無袋ふじ研究部会(会長 菅井 功さん)が中心となり技術開発が進められ、行政と農協・りんご組合による組織をあげた長年の試行錯誤の結果創り出された、朝日町歴史最大の産業ホームランとなりました。技術革新力のある無袋ふじは、市場評価も極めて高く朝日町の農業構造を変えるに至り、粗生産高30億円を超す大きなリンゴ産業へ成長さ



せることになります。

(菅井正人)

写真は『朝日町りんごの歴史』より

※あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。



■5月1日～5月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
宇津野	村山 拓海	男	一史・里織
大町	安藤 輝	男	則行・弘美
古檍	清野 華鈴	女	秀雄・淑華
下芦沢	岡崎 瑞花	女	兼太郎・千春
能中	佐竹 通康	男	弘男・景子



おしあわせに

鈴木 和美
(四ノ沢)



加藤 妙子
(天童市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
下芦沢	岡崎トミエ	喜一
松程	鈴木たみ	かつ子
大谷二	渡邊まさ子	春一
沼向	鈴木昌子	吉雄
栄町	鈴木安雄	正子
八ツ沼	小松壽一	倫
西町	成原一	一弘
松原	安藤辰雄	まり子
ふれあい荘	山内イシ子	本人
ふれあい荘	鈴木きくよ	本人
前田沢	渡辺トモ子	一雄
下芦沢	土屋くにゑ	都治

掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成16年5月31日現在

人口 8,984人(減23人)

男 4,456人(減8人)

女 4,528人(減15人)

世帯数 2,571戸(減4戸)

()内 前月比

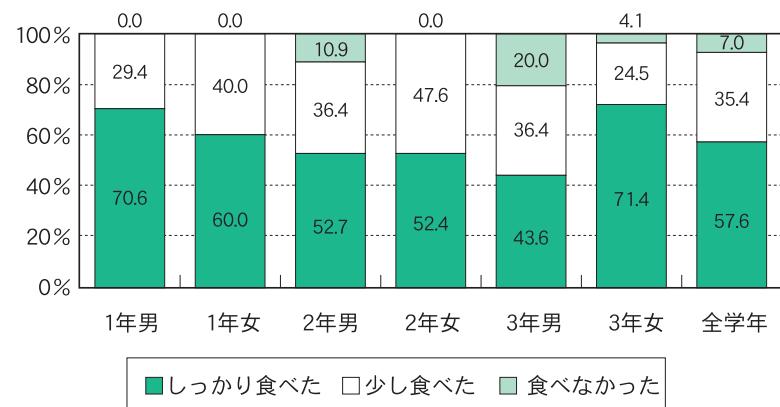
きょうの健康 あしたの健康

“元気の源、朝ごはんを食べよう”

これは、朝日中学校のご協力をいただき、朝食についてたずねたものです。

※2003.12.11～12.12のうち、どちらか一日について回答。271人分を集計。

質問：朝ごはんを食べてきましたか。



全学年で、朝食を食べなかった生徒は19人で、食べなかった主な理由は「時間がなかった」が多く、16人でした。また、「少し食べた」と答えた生徒が3割以上を占めていました。

朝食は体の活性化、肥満防止、快便効果、脳の働きアップ、生活習慣病の予防につながります。エネルギー不足で、ボーッとしたまま授業を受けていませんか。



中学生に限らず、朝食の欠食は大きな問題です。

県民栄養調査結果によると、小学・中学生の欠食率（週2回以上欠食する人）は5.6%で、20歳代では男性で44.6%、女性で28.0%でした。

朝日町では働き盛りの年齢で体を悪くする方の割合が高く、生活習慣病の増加は深刻なものです！

健康を損なってから健康のありがたさに気づくとは言いますが、後悔はしたくないものです。

まずは、朝食を食べるよう家族全員で心がけ、健康長寿を目指しましょう。

お詫びと訂正

平成16年5月15日発行「広報あさひまち5月号」に誤りがありました。正しくは

①2ページ 特集 マガリタケ → ネマガリダケ

②15ページ 戸籍のまど「おしあわせに」

星野真理子さん → 星屋真理子さん

お詫びして訂正いたします。

朝日町の原風景 写真コンテスト作品 vol.14

入選 棚田に行く



朝日町の棚田は有名で、年に何回か訪れて写真を撮っています。

この写真は、棚田の中を人が歩いている風景で、このような場面にはなかなか遭遇しないので、たいへん良い風景を撮ることができたと思います。

今年も、朝日町でフォトコンテストが行われているので、これからも朝日町を訪ね良い作品を応募したいです。

撮影者 三浦 静明さん(天童市)

を永く経験し、指導していく立場になつた今、初めて操法の大切さが理解できるようになつた気がします。有事の際、安全で迅速、確実に消火活動をするためには、最低必要なことであるといふことを、若い団員に伝えていく義務があります。

最低必要なこと。もう一度考えられる機会が、わたしたちに与えられました。郡大会出場辛い朝練が、七月末日まで続きます。

たけのこや
筍の葉隠れて
(はやげん)

春夏秋冬

編集後記

三年に一度開催される「消防操法審査会」。通常は、四月下旬の「春季消防演習」で、辛い早朝練習（部によつては夜に練習しているところもあり）は一段落といふところですが、今年は五月の連休明け後も約二週間ほど続きました。わたしが入団した当時は、毎年開催だつた審査会。若者たちの勤務形態の変化など、時の流れと共に消防団の行事もスリリム化が図られ、現在のような三年間に一回の形態がとられるようになつたようです。中には、「こんな審査会は必要ないのでは」という声も聞かれますが、団員